

重要取組シート 建築都市局 都市整備部 都市整備推進課

取組項目		中百舌鳥都市拠点活性化の推進
現状・課題		<p>中百舌鳥エリアは、これまで堺市マスタープランや都市計画マスタープランにおいて都市拠点と位置付け、下記の方針を定めて、人や企業が賑わい交流する拠点形成を図ることとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 堺市産業振興センターやさかい新事業創造センター、堺商工会議所、大阪府立大学などとの連携のもと産業支援機能の充実を図る。 起業家支援の充実・強化により都市型産業を誘導する。 <p>また、堺グランドデザインにおいては、「産業・研究機関、人が集い、最先端テクノロジーとビジネスを創造する次世代クラスター」とすることをエリアのコンセプトとして位置付けている。</p> <p>これらの実現に向けて、産業振興局等関係部局と連携するとともに、低利用となっている地下鉄御堂筋線中百舌鳥検車場上部の地上権保有地（調整池）の活用検討を進める必要がある。</p> <p><調整池> 敷地面積 約 5,600 m² 経過 昭和 60 年 大阪市（現大阪メトロ）と契約締結し、地上権を堺市が取得 昭和 62 年 調整池整備、地下鉄御堂筋線が開業</p>
取組みの内容		<p>【調整池の活用】</p> <p>○活用の方向性（導入機能のあり方） 次世代クラスター形成に向けて、必要となる機能・施設イメージを明確にするため、産業振興局等関係部局と協議し、活用の方向性を取りまとめる。</p> <p>○大阪メトロや大阪府立大学等との連携に向けた協議 調整池活用にあたり、土地所有者である大阪メトロや、周辺に位置する教育・研究機関である大阪府立大学等との連携に向けた協議を行う。</p> <p>○調整池代替機能の整備内容調整 調整池活用にあたり代替えとなる機能が必要となるため、代替機能整備について下水道部と協議調整する。</p>
スケジュール	前期 （～7月）	□活用の方向性検討（導入機能のあり方）
	中期 （～11月）	□大阪メトロや大阪府立大学等との連携に向けた協議 □調整池代替機能の整備内容調整
	後期 （～3月）	
	次年度以降	□事業者募集に向けた手続